学校法人ヴィアトール学園

洛星中学校 洛星高等学校

5カ月におよぶ宇宙探究の集大成は

アメリカNASA
航空宇宙局

創立75周年記念事業「洛星 × 宇宙プロジェクト」

洛星中学校・高等学校が実施した「洛星 × 宇宙プロジェクト」は、宇宙開発の最前線に触れて“本物”を体験する実践型の探究・研修プログラム。JAXA（宇宙航空研究開発機構）の見学に始まり、米国NASA（アメリカ航空宇宙局）での研修で幕を閉じる一連の学びは、生徒の宇宙や科学に対する理解を深めるだけでなく、将来への期待もふくらませます。およそ5カ月におよぶ学びの内容を、本企画発起人の田邊篤志さんの話をもとに紹介します。

洛星中学校高等学校
事務局
田邊 篤志 さん

今話題の宇宙分野に着目

「宇宙に興味のある生徒に本物を見せてあげたい」。その思いから始まった洛星中学校・高等学校の壮大な学びの企画「洛星×宇宙プロジェクト」。洛星OBにはJAXAで働いている人も多く、彼らにも支えてもらい、実現しました。

有人月探査や月面開発の未来を拓く「アルテミス計画」やスペースX社の上場など、近年、宇宙に関する話題はメディアを賑わせています。その中でこの企画も注目を集めています。

参加したのは、中3～高2の生徒。自主プレゼン動画と志願書の審査を経て、宇宙に憧れを抱く26名が選ばれました。

研修行程

- 春休み：JAXA研修
- 4～7月：事前研修［計4回］
- 8月：NASA研修［7泊9日］

見聞きするもの、すべて〝本物〟

研修は、JAXA（筑波・相模原）の見学からスタート。事前に知識をインプットして臨んだとはいえ、やはり百聞は一見に如かずで、「きぼう」（国際宇宙ステーション）に設置された日本初の有人宇宙実験施設」の管制室など、宇宙事業の〝本物〟を目にすると、生徒たちのテンションは一気に最高潮へ。同機構で働く洛星OBや宇宙関連企業の方と直接対話する機会も用意されました。

その後の事前研修は、校内で段階的に実施。米国NASAでの勤務経験を持つ物理教諭のオリエンテーションを皮切りに、「微小重力下の実験」「宇宙ベンチャー」など、自らテーマを設定して探究を行い、生徒たちは宇宙についてどんどん興味を深めていきました。

最後の校内研修では、京都大学大学院で太陽惑星系電磁気学を研究する教授を招き、理論に裏打ちされた専門家の話に、生徒たちは終始圧倒されていたといいます。しかし、それで終わらないのが洛星生。わからないことや疑問には、謙虚かつ素直に質問し、最後まで主体的に学ぶ姿勢を見せたと田邊さんは感心します。

好きなことをとことん学んで夢を追え！

夏休みの米国NASA研修は、「洛星×宇宙プロジェクト」の集大成。ケネディ宇宙センター見学やロケットの打ち上げ、宇宙飛行士との対話などを経験しました。生徒たちは、どのような〝本物〟に触れ、何を学んだのでしょうか。その様子は、学校HPなどで発信されるレポートに注目です。

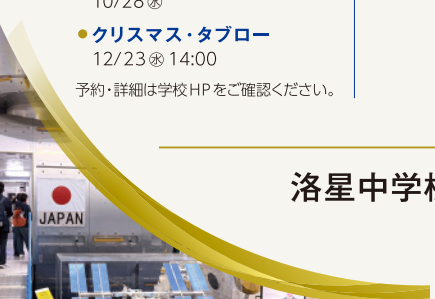
最後に今回の企画を田邊さんに振り返ってもらうと、「母校の後輩のために労を惜しまず協力してくださったOBの存在と、そのネットワークが国内外にあるからこそ実現できた学びでした」と感謝の言葉。加えて、「自分の興味がある分野を心ゆくまで学ぶのは楽しいんだ！ということも、生徒たちに学んでほしい」と語ってくれました。

JAXAには京都大学文学部で美学（ファッション）を専攻した洛星OBの方もいらっしゃいます。在学中に宇宙に関わる仕事がしたいと思われて、現在は宇宙開発の企画に従事されています。「この分野に携わりたい！」という熱意さえあれば、いつでも楽しんで学び、夢を追いかけられる――。本プロジェクトを通して生徒たちは、そうした人生の歩み方も学ぶことでしょう。

information

- **入試説明会（対面）**
  10/3㈯
  ※特設ページをHP上に開設予定
- **オープンスクール**
  11/14㈯ 14:00
- **体育祭**
  10/28㈰
- **クリスマス・タブロー**
  12/23㈷ 14:00

予約・詳細は学校HPをご確認ください。



洛星中学校・高等学校　京都市北区小松原南町33　TEL.075-466-0001